

第1回防府競輪活性化委員会（会議要旨）

日時	令和2年6月2日（火）午後1時30分から午後3時30分
場所	防府競輪場 サイクルシアター外
出席者	<p>【委員】 大和委員、賀屋委員、羽嶋委員、港委員、窪川委員、島田委員、友景委員 ＜欠席委員＞林委員、大久保委員、吉本委員、石田委員 ※林委員、大久保委員には、6月3日（水）に議事の内容について事務局説明及び施設見学を実施した。</p> <p>【事務局】 熊野産業振興部長、赤松産業振興部参与、岡田競輪局長、藤田競輪局長補佐、中司競輪局業務係長</p>
傍聴者	2名
議事	<p>議題1 防府競輪活性化委員会について 議題2 防府競輪の現状について</p>
その他	防府競輪場の施設見学

1. 産業振興部長挨拶 <省略>

2. 委員長・副委員長選出

委員長：賀屋哲也（防府商工会議所 専務理事）

副委員長：大和孝義（山口県自転車競技連盟 会長）

3. 議事

議題1：防府競輪活性化委員会について

事務局から説明

- ・「防府競輪活性化委員会設置要綱」（配付資料4）により委員会の設置理由について説明。
- ・「防府競輪活性化委員会の開催スケジュール」（配付資料5）により、「防府競輪活性化計画」の策定に当たっての意見をいただきたいことを説明。
- ・「航空写真」（配付資料6）により、意見を特にいただきたい点（メインスタンドの再整備、老朽施設及び旧野球場駐車場解体後の活用策）について説明。

委員からの意見等

< A 委員 > 事務局から説明があったとおり老朽化した施設が沢山あるが、後ほどの施設見学後のほうが意見が出るのではないか。

< 委員長 > 施設を見てもらった後に、事務局からの説明があったことについて意見を伺いたい。

議題 2 : 防府競輪の現状について

事務局から説明

・『防府競輪の概要 説明資料』(配付資料 8、9)により、防府競輪の沿革、現状、課題について説明。

委員からの意見等

特になし。(施設見学後に議題 1 と一緒に出してもらうことにした。)

4. 防府競輪場の施設見学

- ・競輪場内施設を約 1 時間に渡り見学した。

【施設見学後の各委員からの意見等】

< A 委員 > スリリングでエキサイティングなレースを観戦するならメインスタンド、ギャンブルの楽しさに特化するならモニター画面と発券場のエリアなど多様な施設がある中、コンパクトな施設整備を実現していくのが今回のテーマになると感じた。

< B 委員 > 25 年前に来た時とあまり印象は変わらない。皆が来やすい施設にしてもらいたい。

< C 委員 > 施設整備の経緯はあるのだろうが、動線とか機能を見殺した配置になっていると感じた。計画の策定にあたっては、県のスポーツ振興の観点から意見を述べさせてもらいたい。

< D 委員 > 40 年ぶりに来た。よくこれまで壊さずに持たれていたなという印象。新しい施設の整備については、出来れば多目的に使える複合施設にして交流人口を増やしてほしい。

< E 委員 > 競輪場には来たことがあったが、バンクをみたことはなかった。古さもだが規模も大きいと感じた。もう少しコンパクトに集約することを考える必要があると感じた。清水選手も頑張っており、若い人が少しずつ興味を持ってきていると思うので、良い意味で集まれる施設にしていければ。

< F 委員 > お客様が来るのに動線、足場が悪い。施設を作り替えるのであれば一体型・複合型の施設を。競輪がない時でも一般市民が集えるような競輪場にしてほしい。

< G 委員 > 外から来る人を寄せ付けないような、来にくい施設と感じた。スポーツ文化の観点からいろんな方が気軽に来られるものにすべきでは。施設整備について、この際、根本的な動線をしっかり考え、集約できるものはしては。若い人や女性も集まるスポーツ文化の拠点として楽しめるもの、位置関係的にまちづくりの観点からも施設整備を考えてはどうか。

5. その他

事務局からお知らせ

第2回は、7月下旬の開催を予定しており、防府競輪活性化計画の素案についての意見を頂戴したいと考えている。